



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2023年
(令和5年) 8月号
NO. 192

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- 厚労省 間老健局長表敬訪問 < 2面 >
- 施設紹介 (清心苑・岐阜県) < 3面 >
- 車座対話のお知らせ < 4面 >
- 尾島の視点 < 2面 >
- 介護ニュース・ダイジェスト < 4面 >
- 三重県 業務委託契約締結 < 4面 >
- 赤枝会長 新潟訪問 < 3面 >
- ユニットリーダー研修 実地研修受講を推奨 < 4面 >
- 事務局から < 4面 >



岸田総理 ICT機器の活用現場を視察

「効率化で生み出された時間をケアの充実に」と発言 生産性向上の取組について更なる支援の強化を示唆



7月28日、岸田文雄内閣総理大臣は、都内にある社会福祉法人善光会（理事長西田日出美）のサンタフェガーデンヒルズ（写真右）内にある特別養護老人ホームフロース東糀谷（施設長吉村亜矢子）を訪れ、眠りスキャンなどICT機器の活用現場を視察した。視察後の記者会見で、生産性向上に向けた取り組みは介護職員の負担軽減にもつながるとし、政府として推進していく方針を改めて明らかにした。

効率化による報酬カットの懸念を払拭

総理が視察したフロース東糀谷は一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会（推進協）の会員施設。運営する社会福祉法人善光会は、以前よりロボットなどの活用を積極的に取り組んでおり、子会社である株式会社善光総合研究所（代表取締役社長宮本隆史）と共にその活用状況を厚労省に度々提供し、厚労省ではこれらを介護保険部会などの審議会にも提示している。更に、こうした資料は、財務省も活用しており、本年4月24日の財政制度等審議会歳出部会の資料では、「介護ロボや介護記録システムなどにより、間接業務を中心に業務時間全体の3割以上効率化」として、3割の業務効率化ができる事例として提示された。これについて推進協は、生産性向上による効率化で介護報酬削減を図っているのは介護の質を落とすことに繋がるとしてかねて懸念を示していた。

今回の視察で岸田総理は、ICT機器の活用に関して「こうした取り組みを通じて蓄積されたデータ、これを活用していくことが、良質な介護を実現する上でも重要である」と理解を示した上で、生産性の向上が職員の負担軽減につながる」と指摘し、「業務の改善や効率化により生み出された時間を、直接的なケアの時間に充てていくなど、結果として、介護サービスの更なる質の向上にもつながる。政府として、こうしたデジタルの取り組みを後押ししていかなければならない」と語り、効率化による介護報酬カットに進む懸念を打ち消すと共に、今後の支援の方向性を示唆した。

2024年度の介護報酬改定に向けて議論する厚生労働省社会保障審議会の介護給付分科会は、6月下旬からそれぞれの介護保険サービスについて個別の検討を開始した。6月26日は定期巡回・随時対応型訪問介護看護や看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの現状や課題、論点が議題が上がった。7月10日には通所介護など通所サービスやショートステイ、次いで同24日には訪問介護など訪問サービス、居宅介護支援などについて話し合われた。

介護給付分科会

いずれのサービスを巡っても、課題は人材不足と物価高騰による事業所経営の圧迫だ。認知症対応型共同生活介護（グループホーム）では21年度の改定で「3ユニット2人夜勤」を認める人員配置基準の緩和が行われたが、安全面や夜勤者の負担感増大を理由に採用していない事業所は少なくない。議論の中では人材不足

人材不足と経営圧迫が課題 個別サービスの検討を開始

と配置基準緩和を安易に結びつけるべきではないとする意見が出された。

通所介護は新型コロナウイルス流行による利用控え、光熱費・ガソリン代の高騰などの影響を最も大きく受けているサービスだ。同分科会に報告された厚労省資料によると、21年度決算で通所介護の収支差率（黒字率）は1・0%にとどまり、19年度の3・2%から急落した。また、訪問介護ではホームヘルパー不足の深刻さが改めて取り上げられた。22年度のホームヘルパーの有効求人倍率は15・5と過去最高を更新した。施設介護職員の3・79倍と比べても4倍以上だ。併せてヘルパーの高齢化も進む。4人に1人が65歳以上の高齢者で70歳以上も12%強を占める。

人材確保のための処遇改善を厳しい経営状況が妨げている状況は明らかだ。基本報酬の引き上げが必須であることは論をまたない。

今回の視察について推進協は「生産性の向上が一層効果を上げるためには、介護職員のスキルアップが必要。生産性向上と介護職員のスキルアップにより正のスパイラルが形成されていくことを期待している。また、来年予定されている介護報酬改定でぜひそうした方向性を打ち出し、ほしい」（事務局）とした。

案内を担当した宮本隆史氏（社会福祉法人善光会最高執行責任者兼統括施設局長、株式会社善光総合研究所代表取締役社長）は、「総理にICT機器を用いることでアクセスメントが充実し、結果的に個別ケア、自立支援に繋がることがご説明した。視察後の記者会見でもそのようにお話をされており、説明を理解いただいたと感じている。視察は非常に良かったと思う」と語った。

介護大学校から

- 【第1期分校実務者研修開催】岐阜県の「特別養護老人ホーム燦燦分校」においてスクーリング開催中。6日間の介護過程Ⅲは8月中に終了予定となり、医療的ケアは9月16日（土）・17日（日）の2日間を残すのみとなりました。全員修了を目指し一生懸命に取り組んでいます。
 - 同じく岐阜県の「特別養護老人ホーム岐南仙寿うれし野分校」は7月に開講、12月のスクーリングに向けて準備を進めています。
 - また、神奈川県「特別養護老人ホームしょうじゅの里三保サテライト分校」は、今年度2回目となる開催に向け準備を進めています。
 - 【第2期分校正式承認決定】7月25日に神奈川県知事より承認書が届き2023年8月の入学者の養成から適用となりました。各分校（10施設）は具体的な日程調整に取り組んでいます。
 - 【第3期分校個別相談会開催】申請書提出を機に開講日、スクーリングの日程調整など開催に向けた個別相談会を開催し分校と本校間の情報共有を図っています。
 - 【第4期分校設置計画書提出】新たに5施設を分校として追加するため、7月13日に神奈川県に設置計画書を提出しました。続いて申請書提出を経て、翌年の2月～3月頃の認可となる予定です。
 - 【第5期分校募集説明会開催】10月5日（木）14時から開催します。弊社ホームページより申込可。
 - 【9月・10月の研修予定】
 - ▽【新規】ユニットケア基礎研修
9月28日（木）・10月12日（木）・10月24日（火）
 - ▽介護福祉士実習指導者講習会
10月2日（月）・10日（火）・16日（月）の3日間（オンライン）
 - ▽実務者研修教員講習会
10月19日（木）・20日（金）の2日間（オンライン）
- ※詳細はホームページで！

間隆一郎老健局長、介護保険制度改革に意欲

7月27日、赤枝眞紀子会長（一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会）は、7月4日付で厚生労働省老健局長に就任した間隆一郎氏（略歴別掲）、同局高齢者支援課長に就任した峰村浩司氏を表敬訪問し、最近の介護施設をめぐる動向について意見交換するとともに、今後全国で開催される予定の車座対話への高齢者支援課長の出席を依頼した。

間局長は、「久しぶりの老健局業務、制度は定着してきたが、まだ課題は残っている」とし、今後の改革に意欲を見せた。また、ユニット型施設の動向にも触れ、「最近ではユニット型施設も増えてきている」と評価した。赤枝会長が、今後のユニットケアのあり方を考える検討会に

おける議論の内容を紹介したところ、ユニットケアのあり方についても話が及び、「認知症など個別ケアを適用する際、標準的なケアを業界内で共有していく実践論がもっと必要だと感じている。現場でもそうした取り組みが進んでほしい」と語った。ICT機器の活用や外国人の介護職員にも理解を示した。ICT機器の活用については、データ収集のあり方が重要とし、「現場に役立つデータとは何かを追究し、ICTと絡めて標準的なケアの確立に役立てられれば、介護職員の負担も軽減されることとなる。こうした取り組みを評価していきたい」と述べ、これからのケアのあり方とICTの融合に関し、方向性の一端を示した。



左から峰村課長、間局長、赤枝会長、佐々木理事

能力・意欲のある外国人介護人材は歓迎

また、介護現場における外国人の活躍について説明した際には、「外国人の介護職員が、自分は日本の歌をよく知らないから教えてほしいと話しかけた際に、嬉しそうに教えてくれる入居者の話も承知している。日本語の発音がいいかどうかよりも何を語るか、どんな声掛けをするのかが大事ではないか。能力や意欲がある外国人に日本に来ていただきたい」と思っているし、そのことで処遇が下がるようなことがあってはならないと思っている」と応じ、ユニットケアの重要な視点でもある、利用者の居場所や役割を作りだす介護の重要性についても言及した。

さらに、最近の円安の影響を受けた外国人の動向にも話が及んだ。これに関し、表敬訪問に同行した佐々木亀一郎推進協理事（社会福祉法人元氣村グループ常務理事）は、「英語圏の国からの入国は今ほとんどない、中国は都市部、農村部といった地域によって異なる印象」と答えた。

生産性向上の取り組みは、「人が行うべきことに注力するためにICTを導入するもの。質の向上とセットで進めていきたい」（間局長）と述べ、効率化のみが目的ではないことを明らかにした。

●老健局長 間隆一郎

平成2年東京大学法学部卒。厚生労働省健康局疾病対策課臓器移植対策室長、年金局年金課長、健康局総務課長、大臣官房総務課長、大臣官房審議官（医政、医薬品等産業振興、精神保健医療、災害対策担当）、大臣官房審議官（口腔ケア、医療介護連携、データヘルス改革担当）などを経て、令和4年6月より大臣官房総括審議官。神奈川県出身。56歳。

峰村高齢者支援課長とあり方検討会等について意見交換

赤枝会長からは、間局長との面談の後、7月7日付で新たに高齢者支援課長に就任した峰村浩司氏と6月のユニットケア推進議員連盟に提出した緊急要望書について意見交換した。

峰村課長は、「以前から身内が利用したこともあり、特別養護老人ホームは承知していたが、ユニット型というのは知らなかった」と話し、ユニット型施設の役割にも理解を示した。

赤枝会長は相模原市の現状を説明し、特養の特例入所について更なる改革の必要性を訴えた。これに対し峰村課長は、「引き続き今後の課長会議などで一層の浸透を図るように努める」と話した。

ユニットケア研修強化の必要性については、これまでの経緯と現状や改革案があるのかといった点について質問し、推進協の問題意識を確認した。

車座対話については、勉強の機会ととらえている認識を示し、参加に意欲を示した。推進協はこれを踏まえ、今後一層車座対話を推進する予定としている。

推進協、介護給付費分科会事業者ヒアリングに登壇決定

8月7日、介護給付費分科会は会合を開き、今年度の介護報酬改定の検討に当たり、ヒアリングする団体を決定した。9月にオンラインで行われる予定。

推進協では、継続して介護報酬の引き上げを要望しており、3年前もユニット型個室の推進につながるよう意図的な介護報酬の設定を求めた。

尾島の視点

『月ごさぎ』の世界観から

猛暑の夏が過ぎれば涼やかな秋が訪れます。秋と言えば『中秋の名月』を想起します。

幼い頃の私は「月にはうさぎが住んでいて、ぺったんとぺったんお餅をついて」と信じて疑いもせず、月に住むうさぎに会える日を楽しみにしていました。歴史を紐解けば、平安時代の貴族は宴の席で月を愛でながらお酒を飲んだり、詩歌を詠んだり、雅な生活を楽しんでいました。いつしかそれが日本の文化として庶民の生活にも根付き、継承されてきました。

我が家においても、多くの伝統を継承してきました。中秋の名月（十五夜）の夜、ススキと共に団子などをお供えし、家族全員でお月見を楽しんだこともその一つです。父に手を取られ野原でススキを取ってくださることが私の役割でした。割烹着姿の祖母と母が、お勝手で仲良くお月見団子を作る姿に幸せを感じたものです。ススキ、お月見団子と一緒に収穫した野菜などもお供えし、夜空に輝く『月』を鑑賞しながら、あれこれと会話を楽しんだことが懐かしい思い出として蘇ります。

1969年7月20日、アポロ11号が世界初となる月面着陸に成功し、その様子が全世界にテレビ放映されました。アームストロング船長は「これは1人の人間にとっては小さな1歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である」と名言を残しています。それと相反するかのようには『月うさぎ』を信じ、会える日を心待ちにしていた私にとっては、現実を目の当たりにしたことにより、儂くも夢が消えた瞬間でもありました。

科学の発展と空想の世界をどのように織りなし、共生していったらよいのか、この問いに月は何と答えてくれるでしょう。

今年の『中秋の名月』は9月29日。皆さんは、何を語りかけますか。

9月・10月の注目研修

▽安全対策体制加算研修
9月12日（火）・10月25日（水）

▽施設看護師研修
10月4日（水）・11日（水）・18日（水）の3日間

※詳細はホームページで！

こまめな水分補給を
熱中症対策

令和6年4月より、介護職員は年2回の虐待防止研修の受講が義務化されます。

厚労省 虐待防止研修対応
虐待防止研修 (Eラーニング)
1本1時間

Eラーニングなのでいつでも視聴可

(株)推進協 新規研修事業

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア 基礎研修

【プログラム】
13時～16時45分

【内容】
ユニットケアの理念と特徴他（GWあり）

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。



桜ガーデンプレイス福住



富田幸二支配人

富田 見学の最後に赤枝会長は、「とても素晴らしい施設。今後は実地...」

この日の最初の訪問先は、長岡駅から車で5分(徒歩10分)程の場所にある、コンパクトシティ桜ガーデンプレイス福住。...

コンパクトシティ桜ガーデンプレイス福住は複合型施設

赤枝会長、新潟県の会員施設を激励に

7月6日、赤枝眞紀子会長(一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会)は、会員施設の視察と、田中政春前理事の弔問の為、新潟県を訪問した。

昨年12月、在職中に死去した田中政春前理事(長岡三古老人福祉会前理事長)の自宅へ弔問に赴いた。赤枝会長は、出迎えた田中晋氏(長岡三古老人福祉会理事長)に推進協創設以来田中前理事が自身と赤枝雄一前会長が苦しい時に助けていただいたこれまでの歴史を語り田中前理事への深い感謝の念を伝えた。また、新潟県は重要な県でもあるとして引き続き推進協への協力を要請した。

田中政春前理事弔問

神保孝施設長は、「関原エリアは地域性がとても強くお祭り、地域の花火など催しも多い。在宅から入所に繋がる施設のため、今後スタッフは自立支援の介護に一生懸命取り組んでいる」と述べた。

施設は、特養の他、デイサービス、ホームヘルプステーション、パワーステーションなどをやっている。パワーステーションでは、パワーリハビリ(軽負荷のマシントレーニング)が行われ動作性や体力の向上を目指し、専門スタッフの指導の下、入居者がトレーニングに励む様子が見られた。



神保孝施設長

次に訪れたのは、長岡市関原町、長岡インター近くで交通に便利なエリアにある高齢者総合施設縄文の杜関原。「高齢者施設、子育て支援、介護予防を行ってほしい」との地域住民からの要望で開設されたと星野理主任生活相談員は語る。



縄文の杜関原

高齢者総合施設縄文の杜関原

研修施設となつてはどうか」と施設職員を激励し今後一層の取組に期待を寄せた。

岐阜県 社会福祉法人清心会

特別養護老人ホーム清心苑

～ お客様に安心とやすらぎを 職員に働きがいと生き甲斐を ～



【ぶらっとお花見】 毎年春になると、苑の裏にある神社の桜が美しく咲き誇る。散歩をしながらのお花見はご利用者様の楽しみの一つ。苑に戻った後の、

【施設理念】 「お客様に、安心とやすらぎを」「職員に、働きがいと生き甲斐を」水の都・大垣と言われる自然豊かな、この場所で、地域の皆様・ボランティアの方々と、そしてスタッフ一同で、心の底から安心して生活していただける施設にする。

【施設理念】

特別養護老人ホーム清心苑は、西に伊吹山、南に養老山脈、東には水の都大垣と言われる美しい水が豊富な濃尾平野が広がる場所に位置している。また、市街地には車で10分、高速インターチェンジまで5分程の便利な場所となる。



施設外観

【施設紹介】



玉入れ競技



デカパン食い競技

今年5月に開催される伝統行事である。今年15回目の開催となった。開会式では毎回、大人気の相談員がパフォーマンスを披露する。

【清心苑運動会】 今年5月に開催される伝統行事である。今年15回目の開催となった。開会式では毎回、大人気の相談員がパフォーマンスを披露する。

皆で作るお花見弁当はとっても美味しい。桜並木があるわけではないが、「テレビで見ると本物が一番良いね」と言っていただけ、春のお花見は入居者の皆様の楽しみとなっている。



私たちが法人の特徴の一つは、真摯に業務に取り組めばしっかりと評価をいただけること。これが、やりがいに繋がります。私も10年程前に現場の介護員として入職し、周囲の方たちに支えていただき現在、施設長業務を行っています。また、今年8月には清心苑敷地前に、計80床の特別養護老人ホーム優心苑が開設となり、現施設と合わせ合計260床の全国的にも最大級の高齢者施設となります。そんな、やりがいのある職場で働いてみませんか。



⑤清心苑 佐久間弘幸施設長 ⑥優心苑 清水光施設長

【佐久間弘幸施設長から】 生産量日本一の工芸品として大垣市の枘は、全国シェア80%以上を誇る。

は、玉入れが行われ総勢76名の入居者様にご参加いただいた。職員にも負けないパワーで、一生懸命競技に取り組み楽しまれていた。

【大垣市の名物】 葛とわらび粉を用いて作られる半透明の饅頭で、大垣の夏の風物詩となっている。 枘(ます) 生産量日本一の工芸品として大垣市の枘は、全国シェア80%以上を誇る。

介護「ユース・ダイジエスト」

6月26日(土)
7月25日(土)

■推進協 定時社員総会と臨時理事会を開催(6月28日)

定例の社員総会。役員の変更や決算の承認を行った。赤枝会長の続投が決定し執行部については変更はなかった。赤枝会長は2025年の推進協20周年に向けて取り組みを進める方針を表明。

■介護給付費分科会 各種サービスに関する議論始まる(6月28日)

24年度の介護報酬改定に向け、個々のサービスについて21年度改定の内容や現状の課題、論点などが厚労省から報告された。

■ユニット型施設の建設費が過去最高額を記録(6月28日)

福祉医療機構(WAM)は福祉・医療施設の建設費に関する22年度の状況を公表した。ユニット型特別養護老人ホームの建設費は、1平方メートル当たり32万7000円、定員1人当たりでは1612万円となり、いずれも2010年度以降で最高額を記録した。

■財務省 社会福祉法人の職員給与還元が不十分と指摘(6月30日)

今年度の予算執行調査の結果を発表し、社会福祉法人では現預金や積立金の水準が上昇しても、職員給与の水準は横ばいだと指摘。積み上がった現預金などが一部法人で給与に還元されていない可能性があると、保有資産を含めた財務状況の「見える化」を推進する必要があるとした。

■介護「労使の会」が集団協定締結を発表(6月30日)

介護サービス事業者と職員で作る介護業界の労働環境向上を進める労使の会は「介護現場におけるテクノロジー導入・活用に関する集団協定」の締結を発表した。テクノロジー機器の導入にあたっては従事者の処遇やサービスの質が

低下することのないよう努める、などの内容が盛り込まれた。

■推進協 赤枝会長が新潟県の施設等を訪問(7月6日)

昨年12月に逝去された田中政春前理事(社会福祉法人長岡三古老人福祉会前理事長)の弔問のため、新潟県を訪問し、併せて、実地研修施設への昇格を希望する施設等を視察した。

■レカネマブの米承認で認知症の会が歓迎声明(7月7日)

エーザイが米企業と共同開発したアルツハイマー病の治療薬レカネマブを米食品医薬品局(FDA)が正式承認したことを受けたもの。日本でも早い時期の承認を求める代表コメントを出した。

■厚労省 介護の待遇改善加算に関するQ&Aを公表(7月7日)

職員の待遇改善に向けた介護報酬の3加算(介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算)について「Q&A」を作成し、事業所などへの周知を求めた。

■介護保険部会 基本方針にヤングケアラー対策を明記(7月10日)

自治体で作成する2024年度からの第9期介護保険事業計画のガイドラインに当たる基本方針について、厚労省は同日の介護保険部会に構成案を示し、大筋で了承された。

■厚労省 6カ月以内の離職で人材紹介業者が手数料を払い戻すなど新たな対策へ(7月10日)

同日の介護保険部会で、高額の手数料や早期離職の問題点が指摘される人材紹介業者への対応について、適正事業者認定制度の認定基準に6カ月以内に離職した場合の手数料返戻を加えることなど必要な措置を講ずる方針を示した。

■介護保険部会 「負担と給付」に関する議論を再開(7月10日)

厚労省は同部会に提出した資料で、後期高齢者医療制度では所得

上位30%を窓口負担2割としたが、介護保険の利用者負担が2割となるのは所得上位20%だと説明した。また65歳以上の第1号被保険者の保険料について、所得320万円以上の人の保険料を段階的に上げ、非課税世帯の保険料を下げる見直しイメージを提示した。

■介護給付費分科会 通所介護やショートステイを議論(7月10日)

通所介護や認知症デイ、ショートステイなど個別サービスについて、厚労省からそれぞれ現状と課題、論点が示された。通所介護の収益差率が1・0%と低いことや短期入所生活介護のサービス受給者数が3年連続で減少していることなどが報告された。

■介護報酬の引き上げを求める署名活動を開始(7月19日)

2024年度の介護報酬改定に向け、日本介護クラフトユニオン(組合員約8万7000人)は、介護従事者が安心して働き続ける水準の報酬設定などを求める「50万人署名活動」を開始。趣旨に賛同する人は誰でも署名に参加できる。締め切りは10月10日。

■キザニア東京に介護体験バリエーションがオープン(7月19日)

子どもの職業体験施設であるキザニア東京に、SOMPPOケアによる介護福祉士の体験ができるパビリオン「ケアアサポートセンター」が開設された。高齢者の身体状態や介護の知識、ICTを使った介護技術などが学べる。

■外国人による訪問系サービスなどの議論開始(7月24日)

厚労省は技能実習や特定技能などの枠組みで介護に当たっている外国人人材について、業務のあり方を見直す検討会を初開催した。訪問系サービスの従事者が認められない技能実習の外国人を受け入れる事業所は、設立後3年を経過している必要がある、などの論点が検討事項として挙げられた。今後の議論を経て年末をめどに方針が取りまとめられる予定。

ユニットリーダー研修 実地研修直接申込で受講拡大

今年度受講生も受講推奨

推進協は、7月受講生より今年度のユニットリーダー研修受講者についてもできる限り実地研修を速やかに受講するよう推奨を始めた。これまでは、昨年度までの受講者を優先するとしていたが、実地研修の受け入れ枠が拡大してきており、過去受講者への優先措置を実施してもなお、受講枠に余裕があるため方針を転換した。今年度の受講者は座学と実地を同時申し込み

ユニットリーダー研修は、2022年6月より再開されたが、推進協は、これまで実地研修未受講となっている座学のみ受講者に対して、受講時期の古い人を優先しつつ実地研修受講の案内を行っていた。しかし、コロナ禍の影響が残り、実地研修受け入れ枠と受講案内とのマッチングに時間を要したこともあり、結果的に未受講者が増加することとなった。こうした課題を解消するため、推進協では実地研修施設の増設、受け入れ枠の拡大に努めてきた。この結果、直接申し込みを試行的に実施した7月、8月の実地研修受入枠調整では、結果的に大幅に枠増となり、9月以降の直接申し込み完全実施に目途が付いた(推進協事務局)。

こうした取り扱いは、受講者のメリットも大きい。ユニットリーダー研修は、座学を受講した後、運営計画書を策定し、実地研修を通じて内容修正した後、各施設で実践することが求められている。この時、座学と実地研修までの間が空くと、運営計画書の内容が陳腐化し、実際に実地研修に行く際に運営計画書を再作成するという大きな手間があった。今後の受講者には、速やかに受講した場合、この手間は省けることとなる。

推進協では「今後は実地研修待機者を増やさないようにしていきたい」としている。

義務化!!

災害対策のBCPを策定しましょう

令和3年4月より標記が義務付けられました。(令和6年3月までは努力義務化)

台風・水害・地震等に備える
※BCPとは、義務継続計画のこと

車座対話のお知らせ

【イベント内容】

- ▽厚生労働省高齢者支援課長講演(予定)
- ▽外国人介護人材の動向など
- ▽事例紹介
- ▽車座対話 有識者・厚労省・施設代表者など
- ・参加者募集中!
- どなたでも参加可能、会費無料です。

【車座対話in奈良】

9月28日(木) 13時~16時開催
奈良県コンベンションセンターにて

【車座対話in静岡】

10月19日(木) 13時~16時開催
静岡県男女共同参画センターあざれあにて

◇お申し込みは、推進協ホームページよりご確認ください。

事務局から

今年の夏は全国的に平年より暑さが厳しく夏バテ対策や体調管理に一層の注意が必要となります。食事・睡眠・こまめな水分補給を心がけこの夏を乗り切りましょう。

▽8月・9月合併号について
前号で合併号になるとお知らせをしておりましたが、今月は通常通り8月号の発行となりました。急な変更があった事をお詫びいたします。次号、9月号は9月15日に発行予定となります。

三重県とユニットケア研修に関する業務委託契約を締結
推進協は三重県と、厚生労働省の定める「ユニットケア施設管理者研修」および「ユニットリーダー研修」の実施について2023年8月1日付で業務委託契約を締結した。8月30日の研修分より受付を開始することとなる。

